

2022. 10. 23 [日]

人は山と同じで、起伏に富んだ、多数の物語の層でできている。


# Intermediator Forum 2022

●会場：代官山ヒルサイドテラス アネックスB棟+リモート環境 ●主催：設楽剛事務所 ●共催：(株)ダンクソフト ●申込み：[intermediator.jp](https://intermediator.jp)

Welcome to IMF

## 結んで開く多元的精神

- 私たちは「昨日までの世界」にもどることはできない。パンデミック以前の世界は、いい世界ではなかった。人間は競争をしすぎて、地球を壊してしまったからである。環境 (nature) を壊した結果、人間 (human nature) も壊れていく。こうして今日、地球をはじめとする、より大きなシステムと調和し、人間を回復させ、動植物の健全性も維持し、かつ適正な利益が保持されるようなビジネス思想が必要不可欠になった。それが何かを毎年ここで提示し、対話を重ねるのが恒例となっている。
- リーダー不要論を背景に生まれた **Intermediator** について簡単に触れておこう。地球規模の課題は地球規模のアプローチがいるし、14歳の姪っ子を成田から石垣島まで送り届けるにもチーム活動がいる。問題・課題の規模がどうあれ、「多様な役割が協働していい結果を出す」のがこれからだ。これを「多数多様体の知」と呼ぶのだが、“多数”がどれぐらいかは問題による。3人以上としてもいいが、気候変動や Pandemic といった大域問題の克服には100万人が協働する未来がある。“多様”が何を意味するかも問題によるが、今後「人間・機械・自然の協働」についてはかなり真剣に追求しなくてはならない。**Intermediator** は、多数多様体の要である。その役割は、関係の網の目の中で異質なものの相互作用を媒介し、より望ましい結果を出すこと、そして非連続な変化を生み出すことにある。このほか、調停・均衡、中立化、無媒介的創造までもが、その仕事だ。
- また、今日もっとも切実な問題として、生命に関わる危機にも目を向けておきたい。第1は気候危機。第2はAIによる支配（技術至上の加速主義）。第3は資本による支配（利益至上の資本主義）。第4は専門家による支配（科学至上の自然主義）。第5は国家による支配（政府至上の政治主義）。どれも本来、暮らしや生命を支えるために用意されたはずの観念が、いま人々の生にとって脅威にもなっている。詳しくはForumで明らかにしたいが、不確かな状況で陥りがちな、「この物語こそ唯一絶対だ」とする人々の態度ほど危険なものはない。**Intermediator** は、この状況を detox する。どうやって？ カギは、「知の多元主義」と「開かれた対話と創造の場」だ。今回は、この話から幕を開ける。当日はこれからを創る心ある方々にお越しいただき、新しい方向ははっきり見えてくる時間にしたいと思います。

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)  プロフィール  
設楽剛事務所 代表, 慶應義塾大学 博士 [政策・メディア]

## Program

2022. 10. 23

13:00 開場

13:20 オープニング

13:25 - 13:55 VisionTalk

「開かれた対話と創造の場」とともに  
— 知の多元主義による detox と codex —  
| 設楽 剛

14:10 - 14:45 Philosophical Practice 1

| topiká 「アーキペラゴ」  
— 孤島でも、帝国でもなく、多島海へ—  
| group dialogue

14:45 - 15:20 Philosophical Practice 2

| topiká 「多様性の中の対話」  
— ロゴス嫌いは人類最大の危機—  
| group dialogue

15:50 - 16:25 Philosophical Practice 3

| topiká 「ビジネス・デザイン」  
— 経営管理より人間学の問題として—  
| solo work

16:25 - 16:50 Dialogue & Polyphony

参加者（会場・リモート）を交えた  
全体対話 と まとめ（多声的に）

この物語こそ唯一絶対だとする態度ほど危険なものはない。

# Intermediator Forum 2022

● 会場：代官山ヒルサイドテラス アネックスB棟+リモート環境

● 主催：設楽剛事務所

● 共催：(株)ダクソフト

● 申込み：intermediator.jp

© SHIDARA & ARCHIPELAGOS